

認定こども園
みどりの森こども園

所在地 袋 674

設 立 昭和 48 年 11 月

従業員数 27 人

事業内容

○幼保連携型認定子ども園



園長
坂本 武範さん

当園は昭和48年に設立した幼保連携型認定こども園です。平成28年までは「水俣みどり保育園」として運営を行っていましたが、平成29年に認定こども園の認定を受け、再編を行い現在にいたります。

認定こども園として新しくなった当園ですが、設立当初から変わらずに大切にしている考えがあります。それは『子ども中心の保育をする』ということです。子どもたちのためになることは何かを全職員が考え、豊かな人生の基礎を作るための教育と保育を心がけています。

特に「遊び」と「食事」を通した保育は当園が力を入れている取り組みです。子どもたちは袋地域の豊富な自然の中で思いっきり遊ぶことで、感性や知性、コミュニケーション力を身につけます。ま

た、玄米ごはんや出汁から作るみそ汁、地元の食材を基本とした和食中心の給食を通して、子どもたちの健康な心身の成長を目指しています。障害を持つ子どもや、保育の中で医療的なケアが必要な子どもを受け入れることも、当園が続けている取り組みです。看護師資格を持つ職員の配置、医療的ケアが必要な子どもを含めた送り迎えの実施など、いろいろな事情で登園を諦めるといったことがないよう、できる限りの体制づくりを行っています。これからも、一人一人の個性を大切にしながら子ども達の保育を目指して職員一同取り組んでいきます。子どもたちの明るい未来のため、力になれたら幸いです。



▲豊かな自然の中で遊ぶ子どもたち

当園では、「遊び」「食べる」を大切にするとともに、「すべての子どもの育ちを保証する」ことを目指しています。子どもの専門機関として、障がいなどの有無に関わらず一人ひとりに合わせた保育を行い、保育教諭に加え心理士・看護師などの専門職が連携して支えています。高校生や中学生の皆さんには体験やボランティアを通じて保育の魅力を知ってほしいです。養成校の学生の皆さんも、気軽に実習に訪れてください。



HP



自然とともに過ごす子ども達